

霧島市地域公共交通網形成計画推進に係る
事業報告

平成30年3月7日
霧島市地域公共交通会議

(1) 地域公共交通のサービス見直し

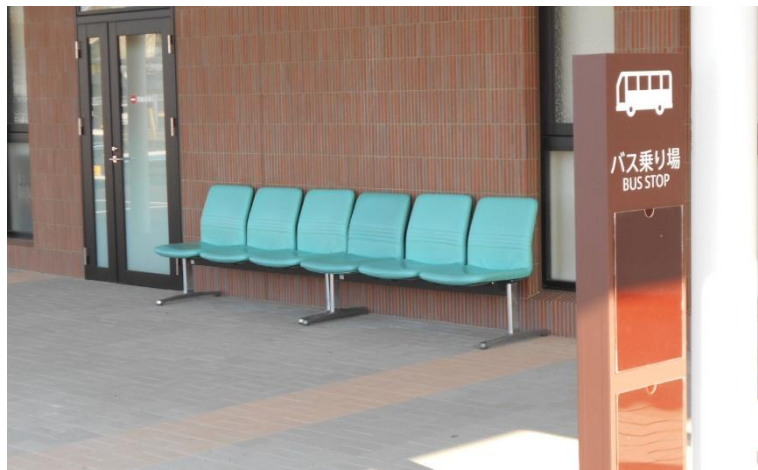
① ふれあいバスのサービス見直し

計画概要 計画 P101

運行ルートの見直しや路線バスとの乗り継ぎ利便性を高めるようなサービスの改善を行う。特定の路線・地区については、利用促進策を実施するとともに、持続的な移動手段の確保に向け、沿線住民の理解・納得のもと、運賃の値上げやデマンド交通の導入など他の移動手段も検討

実績

- 平成28年度に実施した住民座談会における地域の方々の意見等を踏まえ、平成29年10月から見直し後の運行を開始した。※主な見直し内容は次ページ以降のとおり
- 平成29年11月1日に国分生協病院が霧島市役所近くに移転したため、ふれあいバス利用者及び生協病院利用者の利便性向上のため、スクール対応以外の国分ふれあいバス全便が生協病院ロータリー内への乗り入れを開始した【平成29年11月7日から乗入開始】



※生協病院新設バス停

<参考>住民座談会等を踏まえたふれあいバスの主な見直し内容（溝辺・横川・牧園）

◇平成29年10月～

地区	見直し内容	改善内容	見直しの背景
溝辺	■竹子三縄線を大隅横川駅まで延長する。	溝辺、横川両地域の交流人口の拡大 ※横川ふれあいバスの1路線(岩穴・二牟礼線)を溝辺総合支所まで延長させることにより両地域の相互乗り入れが可能	横川地区の座談会で、溝辺総合支所周辺の病院利用や買い物に対する要望があった。
	■溝辺総合支所から隼人駅を結ぶ路線の新設 ※週2回、1日3往復を予定	溝辺地区住民の医療センターへの移動、隼人駅周辺での買い物、国分市街地への移動手手段の確保	溝辺地区においては、国分地区・隼人地区へのバス利便性が低い。
横川	■岩穴・二牟礼線を溝辺総合支所まで延長する。	溝辺、横川両地域の交流人口の拡大 ※溝辺ふれあいバスの1路線(竹子三縄線)を横川総合支所まで延長させることにより両地域の相互乗り入れが可能	座談会で、溝辺総合支所周辺の病院利用や買い物に対する要望があった。
牧園	■医師会医療センターコースの増便 ※月・水・木のみ医療センターからの帰り便を増便する。 (13時台)	診療時間により、既存の時刻(帰り便:11:55発)に間に合わない方の救済が可能	座談会で、医療センターからの帰り便は11:55発しかなく、これに乗り遅れたら、タクシー等で帰る必要があるため、午後の便を充実してもらいたい旨の要望があった。
	■三体コース、中津川コース、持松コースの減便及び運行時間帯の変更	いずれのコースもこれまで午前の便がなかったが、午後の便を1便、午前へシフトすることにより、高齢者等の移動ニーズの高い午前の便を確保することができる。	いずれのコースも平成27年度の利用者数は非常に少ない。 三体コース : 1便当たり0.6人 中津川コース : 1便当たり0.3人 持松コース : 1便当たり0.5人

<参考>住民座談会等を踏まえたふれあいバスの主な見直し内容（霧島・福山）

◇平成29年10月～

地区	見直し内容	改善内容	見直しの背景
霧島	■市後柄・神乃湯・霧島神宮駅線 及び霧島・桂内・霧島神宮駅・神乃湯線の路線延長	医師会医療センターコース(牧園ふれあいバス)の経由地である「真方停留所」まで路線延長することにより、医師会医療センターとの接続が図られ、霧島地区住民の医師会医療センターまでのアクセスが改善される。	座談会において、医師会医療センターへのアクセスが悪いため、改善してもらいたい旨の要望が多く出された。
	■神乃湯・霧島神宮駅・真方線の廃止 ※事実上は、市後柄・神乃湯・霧島神宮駅線 及び霧島・桂内・霧島神宮駅・神乃湯線への統合	同上	過去3年間の利用者数は非常に少ない。 H25: 1便当たり0.8人 H26: 1便当たり0.7人 H27: 1便当たり0.2人
	■向田地区へのデマンド交通の導入	当該地区住民の交通移動手段が確保される。 ※交通空白地域の解消	向田地区は、既設の路線バスやふれあいバス停留所からの距離が遠い。
福山	■福山線 及び 佳例川線を廃止し、デマンド交通を導入する。	住民ニーズ及び地域の実態に合った運行形態の確立	座談会において、デマンド交通の要望が多く出された。また、いずれの路線も平成27年度の利用者は非常に少ない。 福山線: 1便当たり0.8人 佳例川線: 1便当たり0.4人

(1) 地域公共交通のサービス見直し

② 路線バスのサービス見直し

計画概要 計画 P103

➤ 「国分駅」及び新たな霧島市の玄関口となる「隼人駅」を拠点としたバスネットワークの効果的な見直し

市内最大の乗降客数を誇る国分駅と、今後整備が行われ霧島市の新たな玄関口となる「隼人駅」を拠点としたバスネットワークの効果的な見直しを検討する。

なお、見直しについては、利用者の利用目的や収支状況などで路線の色分けを行うとともに、路線の重複状況や利用者の特性などを考慮した上で、運行形態も含めた路線の再編や、需要に応じたサービス水準の見直し、新たな需要の掘り起こしなどを中長期的に進めていく。

実績

市街地循環バス及び隼人国分循環バスへの乗り込み、利用者ヒアリングを行うなど、利用者ニーズを把握し、市街地循環バスの見直し方針案を作成した。

なお、見直し案を作成するに当たっては「分かりやすさ（シンボル性）」「乗り継ぎのしやすさ（ネットワーク性）」「便利さ・活用しやすさ（利活用の多様性）」を基本コンセプトとした。

(1) 地域公共交通のサービス見直し

② 路線バスのサービス見直し

計画概要 計画 P105

- 丸尾バス停を拠点とした、観光客の観光回遊を促進する周遊バスサービスの導入
観光周遊に資する路線バスルートの見直しや新たな移動手段の確保など、丸尾バス停を拠点とした観光客の観光回遊を促進する「周遊バスサービス」を検討・実施する。

実績

観光客及び近年増加している外国人観光客の受け入れ体制の整備として、路線バスが運休となる土日祝日に、主要交通機関から観光地へのアクセスの充実を図るため、周遊観光バスの実証運行を開始した。

- 運行日 平成30年1月13日（土）から3月31日（土）までの土・日・祝日
- 周遊経路 隼人駅⇒日当山西郷どん村【25分滞在】⇒鹿児島空港⇒西郷公園【20分滞在】⇒塩浸温泉龍馬公園【25分滞在】⇒丸尾（温泉市場）【時間20分・60分滞在】⇒神話の里公園【25分滞在】⇒霧島神宮【30分滞在】⇒霧島神宮駅
※上記経路及び上記逆回り経路、それぞれ1日2便運行
- 運賃 大人1,100円（小人半額）・霧島「のったりおりたりマイプラン」で乗車可能



※横向き座席で景色を見ながら観光できる九州初導入の車両

(1) 地域公共交通のサービス見直し

③ 市内主要JR駅のバリアフリー化

計画概要 計画 P106

「高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」において、1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の駅については、平成32年度までにバリアフリー化（エレベーターの設置等）を実施することとなっている。高齢者や乳幼児を連れた方など、誰もが安心・安全に利用できるように、国や県などの補助制度を活用し、地域公共交通のアクセス拠点、乗り換え拠点等のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化を行う。

実績

JR国分駅において、改札からホーム（2番、3番）をつなぐエレベーター整備、エレベーターデッキ新設、旅客通路新設、誘導ブロック、内方線整備、盲動鈴新設に係る工事を実施。（実施主体はJR九州であり、下表のとおり国、県、市は補助金を交付）

※現在、施工中であり、3月中には竣工予定

■平成28年度

設計費 19,300千円

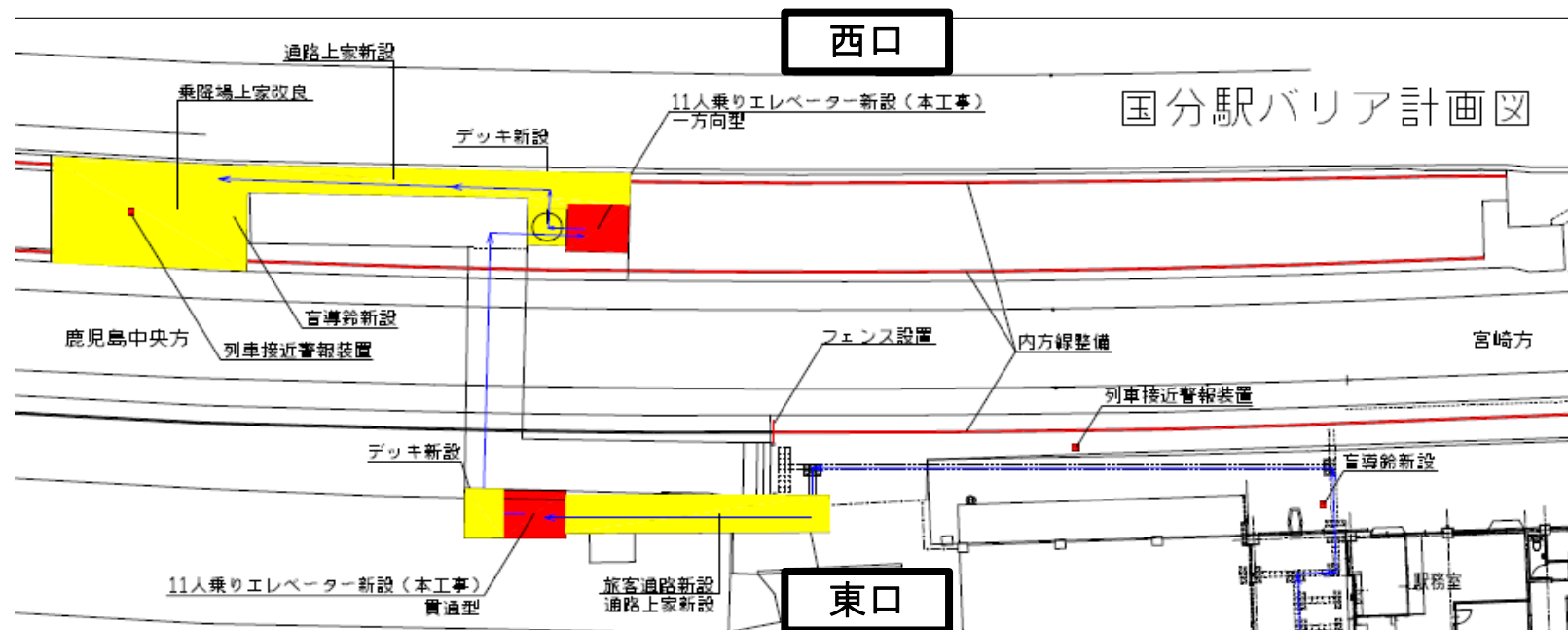
負担者	負担額	負担割合
国	6,433千円	1/3
霧島市	3,216千円	1/6
鹿児島県	3,216千円	1/6
JR九州	6,435千円	1/3

■平成29年度（見込額）

工事費 149,258千円

負担者	負担額	負担割合
国	49,752千円	1/3
霧島市	24,876千円	1/6
鹿児島県	24,876千円	1/6
JR九州	49,754千円	1/3

<参考> JR国分駅 図面



※施工中写真 (H30. 2. 13現在)

(2) 地域公共交通の利用促進

① 公共交通啓発チラシや広報誌等の活用、地域公共交通の利用実態報告の検証

計画概要 計画 P107

公共交通啓発チラシや市の広報誌等を活用し、鉄道やバス等の各種情報などを広く周知していくことで地域公共交通の利用促進を図る。

実績

- 広報きりしまの9月号において、公共交通の利用促進に係る全6ページの特集を組み、公共交通利用促進の啓発を図った。
- 特定の地域から病院、買い物施設等、市内の主要な施設へのふれあいバスでのアクセスについて、高齢者でも一目で分かるようなチラシを作成し配布を行った。
※当事業は特定の地域を対象としたモデル事業として、試行的に実施した。
- ◇ 実施地域 → 溝辺町：三縄地区自治公民館、玉利地区自治公民館、論地簡易郵便局設置
隼人町：上野自治会 霧島：堀之内自治会、狭名田自治会

公共交通の活用

「ふれあいバス」を作りませんか

日ごろ車で移動する市民の皆さんに、公共交通機関を利用してもらいました。使い勝手はどうだったのでしょうか。

いざ、公共交通でのお出掛けに挑戦

公共交通機関は、高齢者、障害者、子育て世代、学生、通勤者など、様々な人にとって大切な移動手段です。公共交通機関の活用を促進するためには、利用しやすい環境を整えることが重要です。

公共交通機関の活用を促進するためには、利用しやすい環境を整えることが重要です。

公共交通機関の活用を促進するためには、利用しやすい環境を整えることが重要です。

◇ 広報誌による特集

ふれあいバスによる「神乃湯」往復

利用例（※この例では往復のバス料金は300円です）

バス停
霧島ふれあいバス路線

◇ ふれあいバスの料金は1回の乗車につき、一律150円です。
◇ 当路線は月曜日、水曜日のみ運行となります。
◇ バスのルート上であれば、バス停からなくても、どこでも乗り降りできます。
※ただし、主要道路（路線図のグレー部分）は除きます。

※帰りの便は下表をご覧ください。

【神乃湯】	【堀之内公民館】	【狭名田公民館】
12:31	12:34	12:36
14:16	14:19	14:21

◇ 公共交通啓発チラシ

(2) 地域公共交通の利用促進

② 公共交通マップの作成

計画概要 計画 P108

公共交通の路線図やJR・路線バス・ふれあいバス等の時刻表等を記載した「公共交通マップ」を作成し、各公共交通機関の乗り継ぎ等を分かりやすくすることで利用促進を図る。

実績

路線バス、ふれあいバス、JR等の霧島市の公共交通網を一元化した公共交通マップを地域別に作成し、平成29年9月の自治会への文書発送を通じ、全戸配布を行った。



←国分・隼人地区用マップ

※国分隼人地区用、溝辺・横川地区用、牧園霧島地区用、福山地区用の4種を作成した。

(2) 地域公共交通の利用促進

④-1 住民座談会等を通じた直接的コミュニケーションによる利用促進活動の実施

計画概要 計画 P109

住民座談会や市が実施する出前講座等を通じて、市民の皆さんと直接コミュニケーションをとり、路線バスやふれあいバスの利用促進に向けた取組を行う。

実績

地域公共交通の利用促進と需要創出について、市民が自ら考え、語り合うことで、地域公共交通を「創り上げ、守り、育てる」機運の醸成を図ること等を目的とし、「KIRISHIMA交通まちづくりトーク」と題したワークショップを開催した。

また、ワークショップで出された意見、アイデア等を取りまとめ、実現可能なものについては、市の来年度以降の利用促進施策案として取りまとめた。

※全2回（9月、11月）に開催し、参加者数は延べ49名



第1回 9月10日（日）開催の様子



第2回 11月26日（日）開催の様子

(2) 地域公共交通の利用促進

④-2 住民座談会等を通じた直接的コミュニケーションによる利用促進活動の実施

実績

- ケアマネージャーの方々と公共交通のあり方等についての勉強会を総合福祉センターにて実施した。(約20名参加)
- 「みんなで乗ろう！コミュニティバス」と題し、牧園町の「ちいきカフェみんなの家」で出前講座を開催し、「市内のふれあいバス等の現状や乗り方」について説明し、また、ふれあいバス等を利用した「おでかけモデルコースの紹介」を行った。
※約15名参加



ケアマネとの勉強会の様子 (H29. 9. 20)

3 ふれあいバスの乗り方について

① 車両

29人乗りの下図の車両で運行しています。※座席数は17



② 停留所

下図のような停留所から乗車できます。



③ フリー乗降区間について

時刻表の**ピンク帯の区間**は、停留所以外でもバスに乗り降りできます。

※ただし、乗り降り可能な場所はバスのルート上のみです。

6 万膳コース(火・金)

停留所名	1車	2車	3車	4車
344 高麗橋交差点	12:33	14:3	351 万膳小橋	7:48
350 藤大橋	12:44	14:3	352 柳橋	7:50
355 柳橋小橋	12:56	14:3	742 大塚	7:52
360 中野分団	12:57	14:3	354 大塚	7:56
348 北郷	12:59	14:4	355 海神公園裏	7:58
348 七塚	13:00	14:4	356 柳村	8:03
343 藤原高瀬前	13:01	14:4	357 柳村入口	8:04
342 二ツ池	13:04	14:4	358 柳村入口	8:06
357 柳村入口	13:06	14:48	393 藤原高瀬前	8:09
356 柳村	13:07	14:49	348 七塚	8:10
351 海神公園裏	13:12	14:54	349 大塚	8:14

出前講座の資料の一部 (H29. 4. 25)

(2) 地域公共交通の利用促進

⑤ 公共交通に関する総合的な情報発信・PRの強化

計画概要 計画 P109

地元住民のみならず、観光客をはじめとする交流者に対する公共交通の情報発信・PRの強化を実施する。例えば、「霧島遊めぐりバスマップ」や「霧島『のったりおりたりマイプラン』バス1日乗車券」などの企画運賃などの総合的な情報発信・PRを強化する。

実績

市内の主要な観光地へのアクセスを分かりやすく示した観光客向けリーフレット及びポスターを作成し、空港、JR駅、観光施設等、市内57箇所に設置した。(H29.12)

